



にほん せいさん い なに  
日本のくだもの生産で、1～5位は何なの

おお  
だんぜん多い、みかんとりんご

1997年(平成9年)の、総務庁統計局の生産高の調査結果を見てみましょう。

みかん	1247000トン	多い県は愛媛、和歌山、静岡など。
りんご	9893000トン	多い県は青森、長野、山形など。
なし	4169000トン	多い県は鳥取、茨城、千葉など。
かき	3022000トン	多い県は和歌山、福岡、奈良など。
ぶどう	2449000トン	多い県は山梨、長野、山形など。

このあと、もも、なつみかん、うめなどがつづきます。

なんぼく なが にほん おおこく  
南北に長い日本は、くだもの王国

日本は地形が南北にのびているので、世界の中でもめずらしいほど、いろいろくだものがとれます。

その中でいちばん多いのがみかんです。これはあたたかい地方のくだもので、静岡から西の地方ではほとんどとれます。とくに日当たりのよい、だんだん畑や海の近くでさいばいされています。

りんごは、すずしい地方でとれるくだもので、日本の東北、北海道、中央高地などがおもな産地です。雨が少なく、かんそうした土地に適しています。

世界でいちばんとれるくだものは、ぶどうですが、日本では第5位です。ぶどうは、雨が少なく、水はけのよい高温の土地で多くとれます。(監修・保岡 孝之)

